天神川駅（仮称）周辺整備事業

まちづくりニュース

～市民と行政とのパートナーシップによるまちづくり～

第2号

平成１３年７月１５日
発行：太秦地下鉄駅周辺
まちづくり検討会

駅前広場と地区内幹線道路の計画を確認

第５回まちづくり検討会が６月１２日に開催され，第 4 回検討会の検討内容と世話人会での検討の経過を説明すると同時に，以下の内容について検討し，確認されました。

確認された内容

◇　駅前広場の位置　　◇　地区内幹線道路の計画位置

駅前広場の特徴

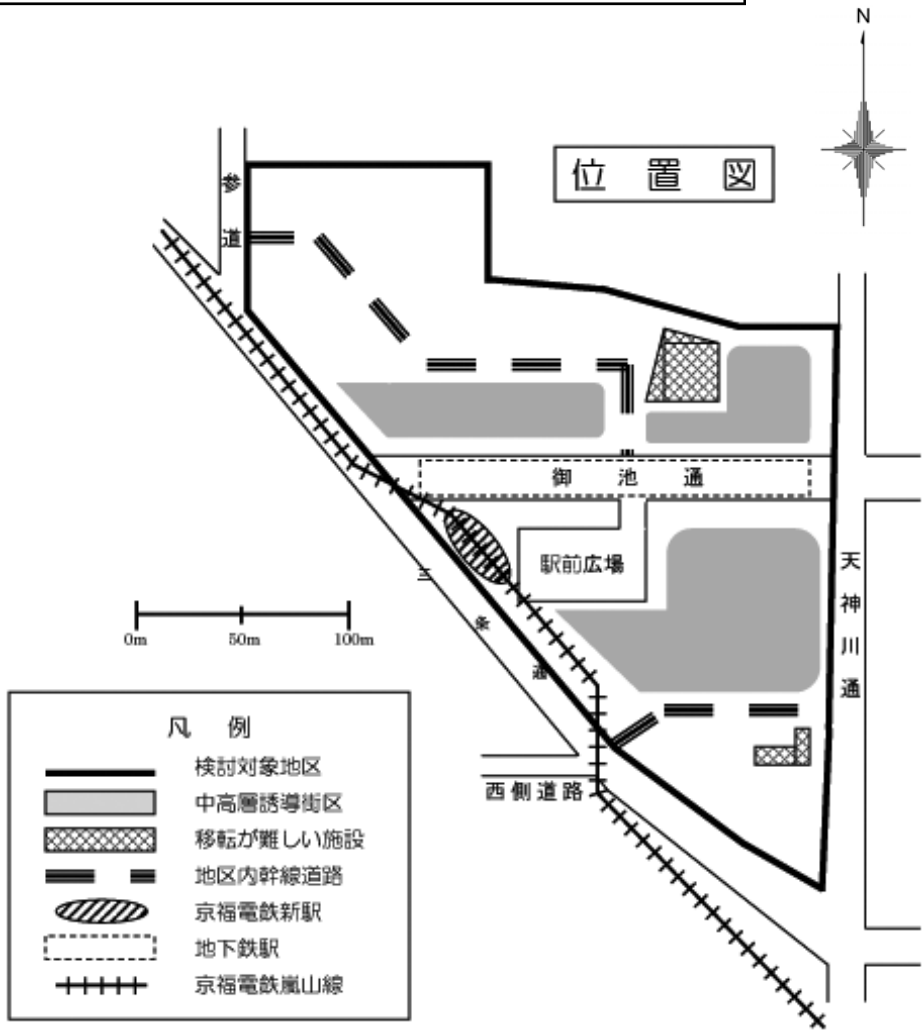
◇右京区内の交通拠点として，ターミナル機能を充実する。
◇地下鉄，京福，バス・タクシーの乗り継ぎを良好にする。
◇広場への出入りを集約した形状にする。

御池通沿道の土地利用

◇御池通が地区の骨格をなす道路であり，右京区のメインストリート及び拠点地区としてふさわしい街並みとして誘導していく街区とする。

地区内幹線道路の特徴

＜御池通より北＞
◇西の取付けを木嶋神社参道にする。また，駅前広場出入り口交差点を活用する。
＜御池通より南＞
◇地区の主出入り口と三条通西側地区の主出入り口及び京福軌道を一つの交差点に集約する。



現段階で最も適切な計画案と考えられる

今後は今回の計画案をもとに地区内のどこが低層住宅ゾーンであるべきか等，地区内の土地利用計画等について検討していく予定です。

検討会で出された主な意見

計画内容について

駅前広場，地区内幹線道路の計画について，検討会として確認されましたが，その過程でどのような議論がされてきたのでしょうか。

1　駅広の面積が小さくないか？
2　中高層のゾーンには何が建つのか？また，御池通にかかる住宅はどこに行くのか？

1　交通局の需要予測の中で出された数字に基づいており，現時点では十分だと考えられます。
2　中高層のゾーンには何が建つのかは，基本的に土地所有者の意向次第。住宅ゾーン等の土地利用計画については，次回検討会で検討していきたい。

まちづくりニュースについて

まちづくりニュース創刊号が先月１５日に創刊されましたが，ニュース配布に関して様々な疑問も生じているようです。

1　いつまで発行するのか？
2　地区住民以外からの意見を吸収すると，意見の収拾がつかなくなるのではないか？

1　少なくとも，まちづくり検討会が続く限り発行します。
2　幅広い意見を収集し，世話人会で議論した上で検討会に諮ることによって，より良い計画の立案が可能になると考えます。

Ｑ＆Ａコーナー

検討会で寄せられた皆様のご意見を紹介するとともに，検討会としての考え方をお答えしていくコーナーです。

Ｑ３　まちづくりの方向性が定まってきているが，計画実現のためには大口権利者等の合意も得る必要がある。しかし、計画実現に向けてそれらの取組は行われていない。今後、どのように対応していくのか？

＜お答え＞

まちづくりの方向性が定まらなければ，権利者等との具体的な協議はできないと考えていました。今回の検討会で，まちづくりの方向性を確認することができましたので，今後はこれらの方向性に沿ってまちづくりを進めていけるよう，京都市が各権利者と協議を進めていく予定です。

まちづくりについてのご意見をお寄せください

連絡先（事務局）：京都市建設局都市整備部区画整理課
住所：京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町４８８番地
TEL：０７５－２２２－３５１１
メールアドレス：hitoymst@city.kyoto.jp

＜京都市の都市整備ホームページ＞
ＵＲＬ：　http://www.city.kyoto. jp/kensetu/toshiseibi/index.htm